

2025年8月21日

各 位

会社名 株式会社スマレジ
代表者名 代表取締役 宮崎 龍平
(コード番号：4431 東証グロース)

【スマレジ×AI】日報自動作成機能のβ版をリリース ～AI活用を本格始動～

iPadなどのタブレットを利用したクラウドPOSレジ『スマレジ』を展開する株式会社スマレジ（本社：大阪府中央区、代表取締役：宮崎龍平、以下「当社」）は、生成AIを活用した日報自動作成機能のβ版をリリースしました。

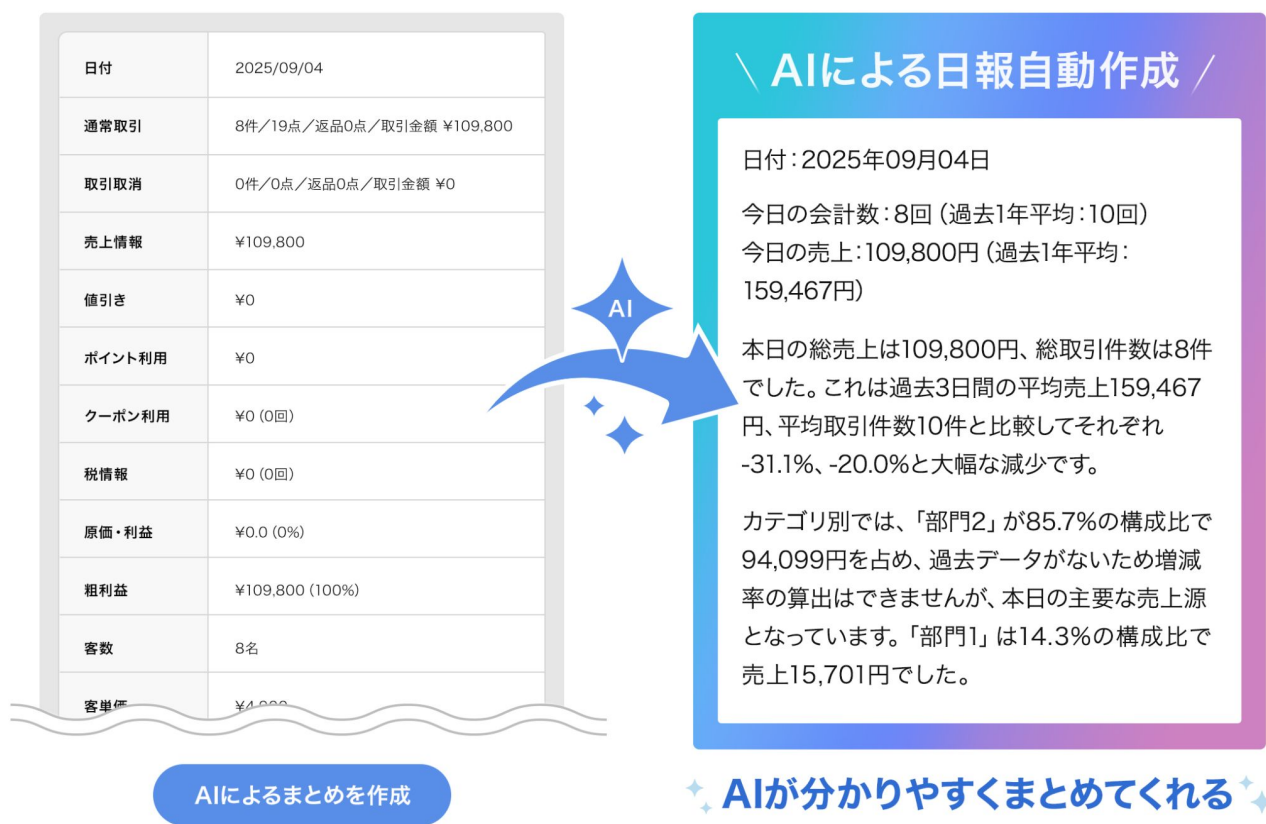
本機能は、2025年6月に開示した「事業計画および成長可能性に関する事項」で示したAI戦略に基づく取り組みの第一弾です。今回は一部ユーザーへの先行提供ですが、今後段階的に対象を拡大しプロダクト強化を目指してまいります。

スマレジ × AI

日報『自動作成機能』の β版をリリース

■ サービスの概要

『スマレジ』の日次締め処理画面上に新たに追加されたボタンを押すと、その日の売上や顧客数、時間帯別傾向などを反映したコメントが自動生成されます。



※画像はイメージです。

<期待される効果>

①ゼロから考えずに日報を作成

AIがコメント文面を提案するため「何を書いたら良いか分からない」と悩む必要はありません。毎日の記録業務をもっと早く楽にします。

②日報を“使える情報”に

売上等のデータに基づいて、分析的なコメントを自動生成。施策の検討や改善アクションに活かせる内容を手間なく記録できます。

■ 開発の背景

慢性的な人手不足やインバウンド対応、DX化の遅れなど、店舗を取り巻く環境は日々変化し、多くの課題が生じています。その中でも日常的に負荷のかかる事務作業は、本来店舗として注力したい接客販売や運営改善業務のリソースを奪い、スタッフの長時間労働につながりがちです。

今回、当社が『スマレジ』のAI実装第1弾として「日報作成」に着目したのは、業態に関わらずどんな店舗でも発生する業務であり、汎用性の高い機能であるためです。さらに、日報作成は疲労感の強い

営業終了後に実施するケースが多く、スタッフの気力や体力を消耗しやすい業務である点にも着目しました。

今回の開発では文章生成だけではなく、データ分析機能も搭載しています。ただの記録活動ではなく、価値ある財産として日報を店舗運営にお役立ていただければと考えております。

■宮崎代表よりコメント

AIというゲームチェンジャーの登場により、社会全体が新たな局面を迎えています。多くの人々が変化にそわそわしつつも、大きな期待とわくわく感を抱いています。

当社は、POSデータをはじめとする膨大な店舗データを保持しており、これらを高度に活用することで、従来にない付加価値を創出できると確信しています。その第一歩として、このたび『日報自動作成機能』をリリースいたしました。単なる定量的な集計にとどまらず、定性的な分析や業種特有の観点を取り入れることで、店舗経営の高度化・効率化を支援する基盤を構築してまいります。

今後もAIを活用した新機能を順次展開し、技術進化を的確に取り込みながら事業成長を加速させてまいります。当社は、変化を恐れるのではなく果敢に挑戦し、ステークホルダーの皆さまと共にわくわくする未来を切り拓いていきます。

■参考：スマレジのAI戦略

2025年6月に開示した成長可能性資料にて、プロダクトおよび社内業務におけるAI戦略を発表しました。今回のリリースは、その第一弾として、プロダクト強化によるAI活用の具現化にあたります。当社は、プロダクトと業務の双方にAIを取り入れ、顧客満足度の向上と業務効率化を同時に推進し、ステークホルダー全体への波及効果を目指してまいります。

[「事業計画及び成長可能性に関する事項」](#)

お問い合わせ先

スマレジIR担当： ir_corp@smaregi.jp